

美方町秋岡で採集した マグソクワガタについて

足立義弘

筆者は、1991年4月28日に兵庫県の美方町秋岡で、マグソクワガタ *Nicagus japonicus* 1♂を採集し、「月刊むし」に発表した（足立，1991）。「IRATSUME」に発表しなかったのは、本種の記録は但馬はもとより兵庫県では初めてであり、より多くの人の目に触れるようにと考えたためである。このため「月刊むし」を購読していない会員の方はこの記録についてはもちろん、甲虫に興味のない方はマグソクワガタ自体を知らないのではないと思われる。そこでマグソクワガタの簡単な紹介と、秋岡での採集状況について記しておきたい。

マグソクワガタの分布は、北海道と本州の近畿以北。成虫は山地の河川の川岸で見られ、幼虫は川岸に埋もれている材から得られている。発生期は4月中旬から6月中旬である。また分類学上の位置は諸説あって一定ではないが、日本ではこれまでコブスジコガネ科として扱われることが一般的であった。ところが1990年9月、田花雅一氏によって幼虫が発見されるにおよび、その形態から、マグソクワガタはクワガタムシ科の甲虫であることが明らかにされた。これらについては、田花・奥田（1992）に詳しい。

採集場所は、矢田川上流の秋岡からさらに上流へ向かって最初の砂防で、砂礫の堆積した小岸であった。午後2時過ぎ、木漏れ日のあたる小礫上で1♂を採った。さらに追加採集しようと、その周りや対岸などを1時間ほど探したが2個体目は得られなかった。奈良県吉野川上流北股川での採集経験では二桁は採れるはずであった。北股川では、採っても採っても次から次と何処からともなく現れ、短時間で多数の個体を得ることができた。この印象が強かったためか、1頭採れば複数の個体が採れると考えていた。

その後、秋岡はもちろん、兵庫県での追加記録もない。兵庫県の河川の調査をした人もいるが採集はできなかったと聞いている。河川の規模が小さく、良好な生息環境が少ないためか、それとも奈良の北股川などとは発生地が異なるのか、いろいろ考えてしまう。ともかく但馬でのさらなる記録を期待したい。

参考文献

- 足立義弘 (1991) 兵庫県でマグソクワガタを採集, 月刊むし250:4.
田花雅一・奥田則夫 (1992) マグソクワガタについて, 月刊むし256:3-10.

兎和野高原のホソハンミョウの記録

足立義弘

古い記録になるが, 兵庫県村岡町兎和野高原でホソハンミョウ *Cicindela gracilis* を採集しているので報告しておく.

〈採集データ〉 1982-VIII-16, 村岡町兎和野高原, 1 ex.

この個体は野外教育センターそばの雑木林の林床を這っていたものである. ホソハンミョウの但馬での記録は, 扇ノ山 (高橋, 1982), 鉢伏山 (芦田, 1992) があるが少ないと思われる.

参考文献

- 高橋 匡 (1982) 但馬地方昆虫目録 予報第7報, IRATSUME 6:57-76.
芦田 久 (1992) 兵庫県におけるホソハンミョウの記録, 月刊むし262:12.